



大谷地だより

Vol.63
 発行 北星学園大学同窓会
 札幌市厚別区大谷地西2-3-1
 TEL (011) 891-2731
 発行責任者 松倉 千春
 編集責任者 事務局編集委員
 印刷 北海道リハビリ

同窓会総会・懇親会開催！

ビンゴ大会も行い盛大に！

去る十月十六日、二〇〇九年度の北星学園大学同窓会総会・懇親会が、ホテルオークラ札幌を会場に開催されました。

当日は、午後五時三十分から三階チエリシーにおいて定期総会が行われ、松倉千春会長による開会の挨拶の後、議長に中村一寛さん（一九七一年経済学科卒）、書記に大野秋奈さん（二〇〇九年生活創造学科卒）を選出し、次の二議案について協議されました。



乾杯の様子

議案一「二〇〇九年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について」は、それぞれの担当者から説明・報告がなされ、提案どおり了承されました。



金井新二学長



杉本拓理事長

議案二「二〇一〇年度活動計画・会計予算について」は、原案どおり了承されました。総会終了後、二階フォンテームに会場を移して懇親会

が開催されました。司会の中嶋あゆみさん（二〇〇八年心理・応用コミュニケーション学科卒）による進行のもと、まず、大学の草島豊チヤブレンにより、聖書拝読と讃美歌が斉唱され、最後に祈禱が行われました。参加された方には、学生時代の一ページを思い出された方も多いのではないのでしょうか。その後、松倉千春会長、杉本拓理事長の挨拶、金井新二学長の乾杯で宴を開始しました。大学と短



杉上忠幸先生

大の各学部学科の同窓会会員をはじめ、招待教員として、大学から真田時蔵先生、杉上忠幸先生、短大から黒川武先生が出席くださいました。また、現職の教職員の方々も



真田時蔵先生

懇親会の中では、懐かしい招待の先生によるご挨拶の後、今年度の同窓会表彰授与が行われ、同窓会活動に長く寄与された、香西和則さん、有澤睦子さんなど六名の同窓生が表彰され、松倉会長から表彰状と記念品が授与されました。



黒川武先生

「お楽しみ豪華ビンゴ大会」が開催されました。番号が呼ばれる度、会場内は大変な盛り上がりを見せ、当選した方には景品が贈られました。当選しなかった方にも参加賞として「卒業記念図書カード」が配布されました。ビンゴ大会後の和やかな雰囲気の中で、畑中博史函館支部長による乾

新入会員の方々へ

卒業おめでとう

同窓会長 松倉 千春



大学・短期大学部を卒業される皆さん卒業おめでとう。同窓会を代表して心からお祝い申し上げます。

私が大学を卒業してから四十二年の歳月が経ちますが、今は同窓会長として札幌を中心とした会の運営と道内各支部及び東京支部への支援などの取組みに尽力しています。

本来ならば、卒業生の皆さんに「厳しい現実社会で頑張って生きろ！」と言った方が単純明快な餞になりませんが、そうは言っても簡単に社会の現実が変わるわけではありません。いつの時代においても現実には常に厳しいものです。

私が今にして思うのは、

「この厳しい現実の中で、どのように生きて来たか、大学教育を受けた人間としての原点は何か」の問いだと思います。

私は困難に遇ったとき、大学時代のことを思い出します。当時の大学は英文学科五〇名、社会福祉学科五〇名、新設の経済学科一五〇名で全学で学生数は六〇〇名足らずでした。

創立五年目の大学の学部・学科の垣根は低く、自由が得られたので、私も他学科学科の聴講や単位の取得が出来たので、私も他学科学科を聴講して多くの学友を得ることができました。

私が学生だった一九六〇年代後半は、作家で哲学者サルトルの実存主義が流行した時代でしたが、英文学科の学友からは、全く私の想像を超えるエリザベス朝時代の文学者で詩人エリオットの「荒地」、超難解な作家ジョイスの「ダブリナーズ」を学び感動し、経済

杯が行われ、盛会のうちに今年度の懇親会を終了することができました。

今年度も同窓生の皆様をはじめ、関係者の方々の温かいご支援のもと、無事に総会・懇親会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

次回の総会・懇親会は、十月十五日（土）に開催する予定です（大谷地だより九月一日号、大学ホームページでお知らせします）。是非ご出席ください。懐古と展望のひと時をお過ごしただけだったらと思います。多くの同窓生のご

学科の学友からは唯物論から階級論、特に宇野浩蔵の「恐慌論」、野呂栄太郎（北海道長沼町出身）の「日本資本主義発達史」に耳を傾けました。

両学科の観念的思考に翻弄されながらも未知の学問的世界を知り学問の奥深さに浸りました。

先にも書きましたが、私は教養主義的学問を学友と共有しました。それが私の今日に至らしめる原点です。卒業生の皆さん、北星学園大学は、もはや草創期の北星学園大学ではありません。進化し巨大化した大学です。教養主義的学問は良き日のことでもあります。今は数多くの専門的学問に分類され、その学舎も変貌しました。しかし、学問の根本は変わっていません。私の時代と違う方法で皆さんは学問を共有したかと思

私に書きませんが、私は教養主義的学問を学友と共有しました。それが私の今日に至らしめる原点です。卒業生の皆さん、北星学園大学は、もはや草創期の北星学園大学ではありません。進化し巨大化した大学です。教養主義的学問は良き日のことでもあります。今は数多くの専門的学問に分類され、その学舎も変貌しました。しかし、学問の根本は変わっていません。私の時代と違う方法で皆さんは学問を共有したかと思

私は困窮に遇ったとき、大学時代のことを思い出します。当時の大学は英文学科五〇名、社会福祉学科五〇名、新設の経済学科一五〇名で全学で学生数は六〇〇名足らずでした。

創立五年目の大学の学部・学科の垣根は低く、自由が得られたので、私も他学科学科の聴講や単位の取得が出来たので、私も他学科学科を聴講して多くの学友を得ることができました。

私が学生だった一九六〇年代後半は、作家で哲学者サルトルの実存主義が流行した時代でしたが、英文学科の学友からは、全く私の想像を超えるエリザベス朝時代の文学者で詩人エリオットの「荒地」、超難解な作家ジョイスの「ダブリナーズ」を学び感動し、経済

杯が行われ、盛会のうちに今年度の懇親会を終了することができました。

今年度も同窓生の皆様をはじめ、関係者の方々の温かいご支援のもと、無事に総会・懇親会を開催できましたことを心より感謝申し上げます。

次回の総会・懇親会は、十月十五日（土）に開催する予定です（大谷地だより九月一日号、大学ホームページでお知らせします）。是非ご出席ください。懐古と展望のひと時をお過ごしただけだったらと思います。多くの同窓生のご

学科の学友からは唯物論から階級論、特に宇野浩蔵の「恐慌論」、野呂栄太郎（北海道長沼町出身）の「日本資本主義発達史」に耳を傾けました。

両学科の観念的思考に翻弄されながらも未知の学問的世界を知り学問の奥深さに浸りました。



お楽しみ豪華ビンゴ大会

参加を心よりお待ちしております。

大学・短大から

短期大学部生活創造学科チームKWB48/3 グランプリ&市民賞受賞!

短期大学部生活創造学科

専任講師

川部大輔

二〇一〇年度も早くも終わりを迎えようとしておりますが、短期大学部は次の新入生を迎え入れるべく、期待に胸膨らませながら慌ただしく準備をする毎日です。在学生もここ大谷地キャンパスでよく学び、よく遊ぶ充実した学生生活を送っております。

今年度のテーマは「点を線で結ぶ」で、札幌の各地がバラバラに地域興しをするだけでなく、人と人、街と街を繋ぐ「線」を提案することが求められました。

審査の結果、我々が北星短大チームKWB48/3が最高のグランプリと、来客の投票によって決まる市民賞のダブル受賞を果たしました。

北星短大チームKWB48/3(カーワーベーンさんぶんのふおーていーえいと)は、点と点を繋ぐ「線」として、エコなどの風潮により複雑しつつありながらも乗客数が伸び悩む札幌の市電に着目。市電沿線に点在する隠れた名店を「点」と見立て、市電の乗客をお店に誘導する、あるいはお店の情報を求める市民を市電に乗車させるためのツールとして吊り下げ式のクーポンを考案しました。

札幌市長に直接プレゼンテーションをするチャンスを得るといふことで、クリエイティブゼミの学生たちは二〇一一年二月の市長プレゼンに向けて着々と準備を進めています(発行される頃には終わっている予定です)。

グランプリを受賞した企画は、札幌市長に直接プレゼンテーションをするチャンスを得るといふことで、クリエイティブゼミの学生たちは二〇一一年二月の市長プレゼンに向けて着々と準備を進めています(発行される頃には終わっている予定です)。



KWB48/3のみなさん



市電をモチーフにした吊り下げ式のクーポン

他にも狸小路のストリートミュージシャンを繋ぐ企画や商店街のお店と客を笑顔で繋ぐ企画など、まちを活気

学生は胸を張って社会に送り出せる、大いに活躍できる人材に育っていると改めて確信する出来事でした。

同窓会の皆様におかれましては、本学をご卒業されたのち、社会の各方面においてご活躍のことと拝察申し上げます。しかしながら、昨今の厳しい経済状況の中、ご苦労の絶えない日々が続いているのではないかと思います。このことは、在学生たちの就職活動にも大きく影響を与えております。そこで、この場を借りまして、キャリアデザインセンターにおける就職支援活動についてご報告を申し上げます。皆様の理解・ご支援を賜りたいと存じます。

センターの職員は、未内定者の支援・指導に日々務めております。センターが行うキャリア支援の主な柱は、①入学当初から全学生を対象にした毎週水曜日の三講目に開講される「キャリアデザインプログラム」と、②職員による個別指導・相談です。これらの取組みは道内でも珍しい徹底した指導と言つてよいと思

センターでは、就職希望の学生たちに対して、道内企業や名の知れた企業にこだわることなく視野を広く持つて就職活動を行うよう指導しております。同窓会の皆様におかれましては、とりわけ求人に関する情報をセンターにお寄せいただければ幸いです。ご協力



職員による徹底した個別指導

就職求人のお願ひ

キャリアデザインセンター長

経済学部教授

松本康一郎

求人等のご連絡先
就職支援課長 鈴木淳子
(北星学園女子短期大学)
家政科一九七六年三月卒
電話 〇一一一八九四一
三七七一(直通)

幹事についてのご報告

昨年四月、幹事として永年ご尽力いただきました長野陽子さん(短大家政科二期)が逝去されました。このことに伴い、幹事会において長野さんの後任幹事として、栗山淑子さん(短大家政科二期)が承認されました。なお、任期は長野さんの幹事残任期間である二〇一一年九月三十日までです。

(事務局)

収支決算・次年度予算報告

2010年10月16日の総会において承認された決算及び次年度予算は、下記のとおりです。

2009年度 収支決算書		2010.10.16 総会 2010.10.7 幹事会	
費目	予算	決算	備考
【収入の部】			
前年度繰越金	4,463,251	4,463,251	預金(4,418,856)、現金(44,395)
同窓会費	27,005,000	27,135,000	@20,000×1,176、@15,000×241
総会懇親会費収入	315,000	342,000	@3,000×90、@1,000×72
プロジェクト	50,000	61,501	コンサート・講演会等募金
利息等	50,000	14,800	定期預金利息
雑収入	0	72,000	ご祝儀、懇親会二次会費
<収入計>	31,883,251	32,088,552	
【支出の部】			
I. 事務費	5,100,000	3,937,857	
1. 会議費	550,000	456,955	支部長会議、幹事会 他
2. 交通費	4,000,000	3,115,710	幹事会、総会支部招待・支部派遣 他
3. 通信費	150,000	97,695	振込料、八ガキ・切手、慶弔電報
4. 物品費	200,000	86,847	事務消耗品 他
5. 印刷費	200,000	160,650	同窓会案内作成 他
6. 雑費	0	20,000	同窓会会費返還 @20,000×1
II. 事業費	17,410,000	14,951,113	
1. 名簿作成費	0	0	卒業生住所録
2. 行事費	5,000,000	3,740,267	卒業生記念品(970,032)、懇親会(2,495,735) 他
3. 同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈文庫
4. 補助費	4,340,000	4,202,974	各支部補助(3,845,000)、英研・大学祭・体育祭補助 他
5. 奨励費	200,000	150,000	@50,000×3名
6. 会報発行費	5,400,000	5,089,887	大谷地だより61号、62号印刷代・郵送料 他
7. 業務委託費	70,000	20,000	懇親会司会者謝礼
8. プロジェクト活動費	1,500,000	847,985	講師交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9. 寄附	500,000	500,000	北星学園100周年記念館
III. 予備費	5,373,251	0	
IV. 資金積立金	4,000,000	4,000,000	
V. 次年度繰越金	0	9,199,582	預金(9,179,304)、現金(20,278)
<支出計>	31,883,251	32,088,552	

2009年度 貸借対照表		2010.10.16 総会 2010.10.7 幹事会	
【通常会計】 2010年9月30日現在			
借方		貸方	
資産の部		負債・正味財産の部	
現金預金	9,199,582	正味財産	9,199,582
		次年度繰越金	9,199,582
	9,199,582		9,199,582

【活動資金積立会計】		2010.10.16 総会 2010.10.7 幹事会	
借方			
定期預金	59,554,829	次年度繰越金	59,554,829
	59,554,829		59,554,829

2010年度 会計予算		2010.10.16 総会 2010.10.7 幹事会	
費目	予算	備考	
【収入の部】			
前年度繰越金	9,199,582	預金(9,179,304)、現金(20,278)	
同窓会費	23,440,000	@20,000×1,172	
総会懇親会費収入	315,000	@3,000×80名 @1,000×75名	
プロジェクト	50,000	コンサート・講演会等募金	
利息等	15,000	定期預金利息	
雑収入	0		
<収入計>	33,019,582		
【支出の部】			
I. 事務費	5,100,000		
1. 会議費	550,000	支部長会議(60,000)、幹事会(90,000)、役員打合せ(230,000)、慶弔(50,000) 他	
2. 交通費	4,000,000	幹事会等(210,000)、総会等派遣本部(1,400,000)支部(600,000)、支部長会議(300,000)、会長交通費(600,000) 他	
3. 通信費	150,000	振込料(30,000)、八ガキ・切手(60,000)、慶弔電報(30,000) 他	
4. 物品費	200,000	事務消耗品 他	
5. 印刷費	200,000	同窓会案内作成 他	
II. 事業費	17,720,000		
1. 名簿作成費	0	2004年度以降当面凍結(同窓会年度)	
2. 行事費	5,000,000	卒業生記念品(1,000,000)、懇親会(3,300,000)、退職者記念品(150,000)、永年表彰金品(100,000)、奨励生への集い(100,000) 他	
3. 同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫	
4. 補助費	4,350,000	各支部補助等(3,850,000)、英研・学祭・体育祭(400,000) 他	
5. 奨励費	200,000	@50,000×4名	
6. 会報発行費	5,700,000	印刷代(1,070,000)、郵送料(3,230,000)、封入作業・封筒作成(1,400,000)	
7. 業務委託費	70,000	名簿整備、懇親会司会者謝礼 他	
8. プロジェクト活動費	1,500,000	講師謝礼、交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他	
9. 寄附	500,000	北星学園創立100周年記念館	
III. 予備費	3,199,582		
IV. 資金積立金	7,000,000		
V. 次年度繰越金	0		
<支出計>	33,019,582		

支部だより

旭川支部活動報告

旭川支部幹事 西岡 将晴

旭川支部の一年間の活動を振り返るにあたって、定期総会時に開催している講演会について皆さんにご報告したいと思います。例年、支部に緑



旭川支部集合!

のある方々に講演をお願いしており、多方面で活躍されている同窓生の報告を聞きたいに触発を受ける機会を得ております。また、北星学園大学を巣立っていった仲間達が歩む道は様々なものでどれもユニークでありジャンル、地域を問わずあらゆる方向に向いており、幅広く社会に貢献していることを認識する機会にもなっております。

本年度においては、大学より松本康一郎先生をお招きして国内外の経済情勢について講演をいただきました。社会に出るとセミナーや研修会に参加することはあっても学生時代に受けたような純粋な大学の講義を受けることが少ないため非常に新鮮でありました。さらに、限られた時間で多くの学術的な知識を得ることができたことは、貴重な経験になりました。

卯歳に思うこと

帯広支部長 樋渡喜久雄

帯広支部の活動とは直接関係ないけれど、今年の干支の卯歳を迎えるにあたって思いつくまに書く。

今年、私は丁度五回目の卯歳を迎える。年齢で言うと満六十歳、勤め人ならば定年を迎える年である。たまたま法人の理事長の職責にあり定年の有難さは当分味わえないが、最近、久しぶりに読み返した「定年ちよっといい話」(石川恭三著)の中に「ふむふむ」と頷ける話があったので紹介する。

同窓会を通して母校に強い愛着、そして誇りを持ち、多くの同窓生にとって会の活動が親睦と自己研鑽につながると思っております。今後とも同窓会活動が発展するための一助になるように尽力していきたいと思っております。

北見支部活動報告

北見支部幹事 五十田 旬

平成二十一年度 二〇一〇年九月五日総会並びに支部懇談会を開催。総勢三十名(大学同窓会役員等を含む)と例年並みの人数が集まり、楽しい時間を過ごすことができました。今回は、初

東京支部の近況

東京支部長 相馬 洋司

今年、短大同窓会との統合による、二回目の総会・懇親会、たくさんの参加者を期待しましたが、残念ながら昨年より十名減、約四十名の参加者となりました。新しい試みとして「北星グッズが当たるお楽しみ抽選会」を企画しました。これはそれなりに皆様に楽しんでいただけたのではないかと考えております。



さらなる発展に向けて

めて出席した方が六名おり、これは役員にとってもうれしいことでありましたが、一方中には支部同窓会の存在を知らなかった方もおられ、今後の周知のあり方について課題も残りました。北見支部は、オホーツク管内全てが対象であり、広大な範囲となつております。そのため、なかなか新規出席会員を増やしていくことは難しいのが現状でありまして、北見支部も創立二十三年目を迎え、今後色々なつながりのなかで新しい会員を見つけていきたいと考えています。最後に二〇一一年の北見支部の総会は、九月三日(土)午後六時から北見市内のホテル黒部で行なうこととしており、是非皆様の出席をお願い申し上げます。

函館支部総会・懇親会のようす

函館支部長 畑中 博史

二〇一〇年の函館支部の総会・懇親会は八月二十八日に開催し、同窓生二十三名、同窓会本部より松倉会長、高谷副会長、斉藤副会長、阿知良副会長の四名、そして大学よ

継承

釧路支部長 榑部 武俊

釧路支部です。名簿の整理を本格的におこなったところ釧路地域の大学・短大の同窓生は六〇〇余名でした。普段交流会などの出欠のお返事が一五〇名ぐらいですから同窓生として気にしていただけのことになります。各種行事に参加頂ける方は、六〇〇余名に対し一〇%未満です。この三層構造は、妥当なところとっております。

つとした勇氣、思いからではないかと。今年度末で定年退職を迎える身でありますから自身に対する自戒の意味を込めて。大学のテレビCMを見るたびに、今時の言葉で「チャライなあ」と。この二十年近くの理念なき混沌の世の中で、どこか薄くなってきた北星学園大学、短期大学の教育理念を高く掲げることの意義、青臭くなることの意義を問いたい。

- 2010年度 支部総会・懇親会予定
- 旭川支部 10月 1日(土)
 - 帯広支部 9月10日(土)
 - 北見支部 9月 3日(土)
 - 東京支部 11月 5日(土)
 - 函館支部 8月27日(土)
 - 釧路支部 9月11日(日)
 - 千歳支部 12月 3日(土)
- ※時間・会場等は未定です。

- 同窓会各支部連絡先
- 札幌を離れる新会員の皆様、同窓会には各地に支部があります。ぜひ同窓会の活動にご参加ください。各支部への連絡先は次の通りです。
- 旭川支部 (1983年発足) 支部長 松倉 千春 (0166) 32-1726
 - 帯広支部 (1985年発足) 支部長 樋渡喜久雄 (0155) 48-6938
 - 北見支部 (1987年発足) 支部長 佐々木 卓 連絡先は北見支部 結城 亨さんへ (0157) 31-1085
 - 東京支部 (1988年発足) 支部長 相馬 洋司 (03) 3338-0628
 - 函館支部 (1988年発足) 支部長 畑中 博史 (0138) 46-2537
 - 釧路支部 (1989年発足) 支部長 榑部 武俊 釧路市役所生活福祉課 (0154) 31-5231
 - 千歳支部 (1996年発足) 支部長 ニッ川憲昭 (0123) 24-8242

◎同窓会事務局 北星学園大学 総務課内 小笠原、川島、大野 (011) 891-2731



讃美歌で支部総会始まる

千歳支部は、同窓会支部の中では一番新しい七番目の支部として、平成八年に設立し、今年の五月で満十五歳を迎えようとしております。会員構成としては、空港関係者や市職員・団体職員・医療や福祉施設職員などが多く、平均年齢も若い大変エネルギーシユな支部として活動を続けており、活動内容は、年一回の定期総会・懇親会の開催や大学よさこいチームの支援活動のほか、今年は、パークゴルフ(ボウリング)等を通じた交流会等も企画しております。

支部設立十五周年を迎えて

千歳支部長 ニッ川憲昭

また、北星学園大学と当市所在の千歳科学技術大学とは、平成二十年十一月に「ラーニング」による教育コンテンツ開発を通じて、教育や研究全般にわたっての連携協力を推進する協定を結んでおり、千歳科学技術大学職員として頑張っている支部会員もいる

つたと反省し、今年は少し丁寧と同窓会の統合の経過なども書いて書面でお知らせをしました。その結果、大学・短大とも昨年を上回る同窓生の方に参加して頂きました。懇親会では司会者(畑中)の独断で各学部の大先輩と比較的新しい卒業生にお話をしていたら、懐かしい話や最近の話などを聞き、楽しく懇談し、参加された同窓生の方

それぞれが北星学園という輪でつながっているんだと実感できた懇親会でした。そして最後はいつものとおりビンゴゲームで盛り上がり、終了しました。 これからもより多くの同窓生に参加してもらえよう同窓会本部や大学の力を借りながら工夫していきたいと思っております。



38名参加 於ビアワークス

新企画プロジェクトからのお知らせ

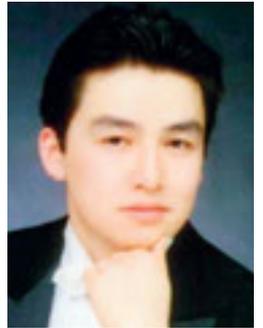
講演会・コンサートも回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。これから一層充実した内容に向けて努力したいと考えております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

オペラ・OPERA・おぺら in 北星 No.9

♪道産子テノール歌手 小貫岩夫 愛を歌う♪

ゲスト

日時：2011年5月14日(土) 午後2時開演
会場：本学チャペル



テノール 小貫 岩夫

SOSからのメッセージ

北海道出身の小貫岩夫青年が、京都の同志社大学神学部で牧師を目指していた...? でも何故か今や日本を代表するテノール歌手!! 甘いマスクと甘い声の小貫岩夫が、札幌オペラスタジオのメンバーと久し振りに愛の歌を歌います。

札幌オペラスタジオ代表 井出 祐子

札幌オペラスタジオメンバー

柳生 たみ・三浦由美子・東條磨見子・小平 明子・村山 元子・佐々木有希・小貫多喜子
福島由紀子・坪田由里子 [ピアニスト] 池田 小夜・佐藤榮里子・雪田理菜子



同志社大学を経て、大阪音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所修了。1998年度文化庁派遣でミラノへ留学。

日伊コンクール2位の他数々のコンクールで優勝。音大在学中の1995年『魔笛』タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムと共演デビュー。この成功により翌年、ケムニッツ市立歌劇場(ドイツ)に招聘出演し地元紙より好評を得る。2000年『サロメ』(若杉弘 指揮)で新国立劇場デビュー。

近年はオペレッタでも『こうもり』、『チャールダーシュの女王』などで多彩な演技力を発揮している。コンサートでは、2004年マルコ・アルミリアート指揮、歌劇『道化師』などで高い評価を得ている他、『第九』、『メサイヤ』等を歌っている。2006年には武道館公演、なかにし礼作・世界劇『黄金の刻』で王子王役を歌い、活動の幅を広げている。リサイタルにも積極的に取り組んでおり、2010年には東京と大阪で開催し好評を得た。二期会会員。

2010年12月、カメラータ・トウキョウからアルバム『いつも微笑みを~オペレッタ名曲集』をリリースした。

オペラコンサートの申し込み方法について

受付開始日は4月22日(金)です。「オペラコンサート参加希望」とお書きになり、氏名、連絡先電話番号、参加希望人数を明記の上、ハガキ又は電話、FAX、Eメールでお申し込み下さい。その時点で受付となります(当日の参加も歓迎しますが、会場の都合上事前にお申し込みください)。

申し込み・問い合わせ先

〒004-8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL: 011-891-2731
FAX: 011-892-6097
e-mail: dousoukai@hokusei.ac.jp

友人・知人の方もぜひお誘いください。
お願い
なお、小さなお子さんの入場はご遠慮下さい。

予告
オータムコンサート
9月17日(土)午後2時から
演奏団体「奏楽」(そら)所属の前田朋子さん他による弦楽コンサートを開催いたします。

講演会報告

山根基世講演会

「もう一度考えたいことばの力」

去る十月九日(土)午後二時より、元NHKアナウンサー室長、現「ことばの杜」代表の山根基世さんをお迎えして、講演会を開催いたしました。近頃は、一瞬の激情から来て、大変な問題行動を起こす子どもが増えています。それは、自分の気持ちを言葉で表現できない、つまり「ことばの力の欠落」にあるのだと山根さんは言います。本来、子どもは自然とことばを覚え、周囲の大人を通して話し方を学ぶものであるが、今は状況が違う。人間関係とことばはセットであるのに、いかに子どもと関わる大人の自覚が足りないかを、山根さんは訴えておりました。

音声言語で子どもに働きかける大切さや、肉声のぬくもり、日本語の美しい響きから愛着が育つのだということ、私たち大人は忘れてはならないでしょう。そして、NHKに入局されてからのご苦労について語られました。そこから得たことは、人は誰でも一匹の虫を飼っている。それはつまり「自尊心」という虫であり、自分

の自尊心と同様、相手の自尊心も大切にしなければならぬということ。くだらない意見でも、一旦飲み込み、代案を提示すること。頭で考え、言語化したことばでなければ、人はついてこないということでした。

最後に、雫石とみさんという方について話されました。想像を絶する苦難の果てに、日記を付け始め、労働者の作文コンクールで労働大臣賞を受賞された方です。「書くことが生きがい。書かなければ生きられなかった」と雫石さんは言い、二千八百万円を寄付し、「銀のしずく文芸賞」を創設なさいました。内側から自分を支えるものを持つている人は強い、と山根さんは言っています。

「自分の頭でものを考え、検証し、疑問にすることを習慣づけることの大切さ」「日々の行いを振り返り、積み重ねていくことを忘れないこと」「ことばの力を信じる子どもを育てる」など、沢山の貴重なお話を伺い、「一つひとつの細胞がみなぎるような満足感」で胸がいっぱいになりました。

「チャールダーシュ」のプログラムで幕が開き、十世紀、北インド発祥といわれるジプシー音楽に魅せられたブラームスの「ハンガリー舞曲第六番」、そして旅の思い出や印象を飾らない人柄そのままのトークと共に、ロシア・パリとして訪れた町で最も美しい街プラハへと、滔々と流れる「モルダウ」と街並みがチャペルの白壁に映し出され、しばしかの地へワープ。

山根基世講演会 「もう一度考えたいことばの力」



コンサート報告

室内楽の愉しみ

フルートと弦楽三重奏の調べ

昨年九月十九日(日)、フルートの山崎崇さん、ヴァイオリン鎌田泉さん、チェロ廣狩理菜さん、ヴィオラ廣狩亮さんによるオータムコンサートが開催され、一〇六名の参加がありました。前半は、W・A・モーツァルトの「フルート四重奏曲ハ長調K.285b」「フルート四重奏曲イ長調K.298」、後半はF・シューベルト「弦楽三重奏曲変ロ長調D.471」、L・v・ベートーベン「弦楽三重奏曲『セラナーデ』二長調Op.8よりポラッカ風アレグレット、主題と変奏曲、行進曲」、A・レイハの「フルート四重奏曲ハ長調Op.98」が演奏されました。アンケートからA・レイハ

の名は知らない人もいたようですが、ベートーベンと同時代でオペラやカンタータ、交響曲、管弦楽曲をはじめ、多くの曲を作曲しています。フルートと弦楽三重奏がチャペルに響き、美しい調べを堪能しました。



コンサート報告

後藤ミホコ

情熱のジプシー音楽

十二kgとは——小柄な後藤ミホコさんが自在に操り、演奏されたアコーディオンの重さです。去る十二月十一日(土)チャペルにて、二百名近いお客様をお迎えし、「蛇腹の送り出す風の音楽」(七十年代女性のアンケート)に触れる機会を得ました。

「チャールダーシュ」のプログラムで幕が開き、十世紀、北インド発祥といわれるジプシー音楽に魅せられたブラームスの「ハンガリー舞曲第六番」、そして旅の思い出や印象を飾らない人柄そのままのトークと共に、ロシア・パリとして訪れた町で最も美しい街プラハへと、滔々と流れる「モルダウ」と街並みがチャペルの白壁に映し出され、しばしかの地へワープ。

珍しい九拍子、十一拍子をとり、「ブルガリア組曲」、会場全員での「浜辺の歌」、「ベルタンゴ」、「剣の舞」と続く。「身体全体が楽器のよう」(六十年代男性のアンケート)に愉しげに、時に哀しげに音を降らせます。アンコール曲は「パリの空の下」は流れる「ホワイトクリスマス」。



四年間の出会いに感謝して



文学部 心理・応用コミュニケーション学科
村山 優

私の大学生活は、人との出会いに恵まれていたと思います。色々な出会いがありました。特に思い出深いのは、部活動を通しての出会いです。私は吹奏楽部に所属し、学内外問わず多くの場所で演奏を行ってきました。具体的には、小さいものでC.A.P.O.大谷地でのミニコンサート、大きいものでは本学の創立一〇〇周年記念演奏会や三井アウトレットパークの開店セレモニーでのファンファーレなどがあげられます。本番を行うたびに、会場の関係者や聴いてくださるお客様との出会いがありました。老若男女問わず多くの人と関わりを持てたことは、私の学生生活における財産のひとつです。

大学四年間、迷いからの夢



経済情報学科
原 将太

今、卒業を迎えるにあたって、大学生活を振り返るとあっと言う間の四年間だった気がします。高校を卒業して、自分が大学で何をしたいのか、また将来何をしたいのかも分からないまま大学へ入学しました。高校時代までは、ずっとサッカーをしてきましたが、それも大学に入ってからはずりもつりも無く、自分はサッカーしか出来る事が無いと思っていました。これからは「どうするか」を考えていました。そのような状態であったので、ただ大学に行き授業を受けて

卒業にあたって

つた四年間の思い出を振り返りながら、また、これから待ち受ける多くの出会いに期待しながら、学歌を歌いたいと思います。最後に、大学生活で出会った方々にお礼を言いたいです。まず、部員のみならず、演奏活動を通して共に成長できたこと、嬉しく思います。これからもお客様に心こもった演奏を届けてください。たくさん思い出をありがとう。そして、教員の方々。私に、大学の授業ほど勉強が楽しいと思えたことはありません。皆様からいただいた知識や叱咤激励の言葉を糧に、これから一社会人として歩んでいきたいと思っています。多くの学びを与えていただき、ありがとうございました。その他、お世話になった全ての方に感謝申し上げます。四年間、本当にありがとうございました。

の後バイトをする、休みの日は友達と遊ぶ、という日々を送っていました。そんな単純な毎日を一年半送り、二年次の夏休みに変化がありました。それは、中国へ実習に行ってきたことでした。初めて海外に行き、今までの生活には無い刺激を受けたこと、そして、海外に行ってみて、日本の良さを感じることが出来ました。

帰国後は、海外に行った影響で二年次の後期授業が始まると同時に、ボランティアサークルに入り、ボランティア活動を通して様々な経験が出来て、一年次での生活よりも充実した生活を送りました。更に、二年次の春休みにはイタリアへ旅行に行き、非日常的な経験をして大学生活を楽しめるようになっていました。三年目からは、就職活動を中心に活動していたこともあり、辛いことや大変なことの中に楽しいこともあり、この約一年半

就職で学べること



社会福祉学部 福祉計画学科
中野 綾

私は、大学三年生の夏から公務員になりたいと思い、筆記試験のための勉強を始めました。大学一・二年生の頃は、アルバイトや友人と遊ぶことが多かった。しかし、勉強を始めてからというもの、それまでの生活とは一変し、学校で授業を受けては予備校に通うという生活が続きました。超就職氷河期といわれる中で、公務員の志望者も増加するということが明らかだったため、筆記試験の勉強中

の期間が大学生活の中でも一番早く過ぎたように感じました。努力した結果、内定を頂くことが出来、四月から働くことが出来ます。

来ます。今、思うと、大学生活はあっと言う間だったし、夢を見つけたことが出来た四年間でした。

は不安に押し潰されそうでした。約一年間勉強を続け、直前には一日十時間程勉強をしていました。その結果、第一志望の札幌市役所から内定を頂くことが出来ました。

北星で学んだこと



短期大学部 英文学科
嶋田 美玖

昔から英語が大好きだった私は、北星短大の英文学科が北海道では最高のレベルで、英語をより深く学ぶ環境が整っていると感じ、その中でもっと英語の能力を高めたいと思い入学しました。入学してみるとほとんど毎日英語づくしの講義で、また英語で進められる講義も多かった。戸惑うこともありました。しかし、短大英文学科の先生方は親切な方ばかりでわからないところがあっても理解できるまでじっくり教えてくださったので、すぐに慣れることが出来ました。また、「話す・聞く・読む・書く」それぞれが集中的に身につくのが授業だったのが基礎力をつけるのにとても役に立ちました。北星に入学しなければ、こんなにも英語を効率的にしかも有意義に学ぶことが

できる環境は得られなかったと思います。また、生涯にわたるかけがえのない友人との出会いもあり、北星に入学して本当に良かったと思っています。一年の後半からは就職活動を始めました。最初は何かから始めていいのかなと不安でしたが、支援助の職員の方々が親切にアドバイスをくださったり、履歴書の添削や面接の練習まで就職活動にあたって大変お世話になりました。本当にありがとうございました。内定を頂いた時はとても嬉しく、辛くても諦めなくて良かったと感じました。四月からは社会人となりましたが、北星の卒業生として恥ずかしくないよう自分の行動に責任を持ち、北星でのたくさんの方々との出会いや学んだ事を活かして、社会人として成長していきたいと思っています。

この二年間の学びに、そして有意義な時間を過ごさせてくれた両親に感謝しつつ、今後は同窓会の一員として人々とのつながりの中で多くのご縁を築いていきたいと思います。

退職される教職員から

退職にあたって



経済学部教授
三宅 章介

一九七三年四月、保健体育の専任講師として北星学園大学に三十二歳で赴任しました。当初から十年間位まで体育実技と体育講義は全学科必修であったため、私の講義を履修しない卒業生は皆無だと思えます。着任時、バスケットボール部とサッカー部の顧問となり、その後ハンドボール部と陸上競技部が新設され、それらの顧問にもなりました。

学生部の委員は十五回以上、部長も四年間経験しているのですが、学生との関わりも多方面でありました。昔は、全学集会というものがあつた。全教職員と全学生が話し合つた。しかし、全員が集合出来る場所はなく、当時最も大きな教室四〇一室(定員四〇七名)で行なわれました。「五講目の授業開講問題」「一日曜日午前中問題」等でしたが、全学集会開催前に必ず自治会執行部と学生部の打ち合せ会があ

り、数時間掛けて打ち合せを行ない互いに真剣に議論した事を今でも忘れられません。当時の学生から今でも年賀状が届き、私同様彼らも当時の出来事が強く印象に残っているのだと思います。時々、予期せぬところで卒業生に会う事があります。私の顔を見るなり、「被害者イコール加害者の先生ですね」一度だけではなくよく言われます。体育講義で私がよく使用した言葉で、「運動不足病は被害者、加害者なのだ。運動不足病になった人の原因はその人の日常生活が悪いからである。先生が言われたこの言葉は今でも忘れられません。と言われた時、私は「よく覚えておられるね」と返答します。この事に関しては教師冥利に尽きると実感しております。この講義は二〇〇名以上の履修者があり、四〇一室で現在はあります。(四〇一室は現在はありません。)

なんと、私自身が学生諸君に勇気づけられ、多くを学ばれます。一期生の基礎演習から始めた「創作研究・ゼミ論集編集・COM」は専門ゼミに引き継がれて第七集を数えました。私の「卒業」で休刊となりましたが、私はささやかなお礼に、一月に出版した「異星、北天に煌めく」(北海道出版企画センター、共著)で、若き日のスミス女史をショートストーリーとして描き、ゼミの最終回で、四年生二十四人のゼミ生に贈りました。表題は「ライラック香る建学の精神」です。

全学集会を経験された卒業生の皆さん、現在「全学集会」はありません。

卒業された皆さんは全員「体育講義」の単位を取られているはず。」「被害者」加害者」の事を忘れていませんか？メタボの時代の今こそ「運動不足病」にならぬよう、日常生活の中に適度な運動を心がけましょう。同窓会の会合には、元気なうちには必ず出席するつもりです。

あつという間の北星の日々でしたが、百人余の「寛政」OB・OGの間からは、この機会に「明日COM会」を発足させ、創造の広場に、との話も出始めています。私は開明的な北星学園の空気を胸に、新たな船出を致しました。

ありがとうございます。

スミス女史の薫陶、白髪新人にも



文学部教授
菊地 寛

北星学園大学に着任したのは二〇〇二年七月一日。朝、辞令をいただき、その足で教室に出

向いて授業開始でした。その年四月、文学部に心理・応用コミュニケーション学科が発足し、学科一期生が教室で待ち受けていました。私は前職にひと区切りつづけて、「遅れてきた新人教師」ではありません。ご配慮でしたでしょうか、入学式には列席させていただきました。理事長・杉本拓さんが、明治の札幌にうぶえを上げたスミス塾の創設者、サラ・クララ・スミス女史の熱い想いを語り、学園の建学の精神となつて

ありがとうございました



企画広報課
木村 曜子

二〇〇六年四月に採用され、総務課での仮配置期間を経て約五年間企画広報課で勤務してまいりました。企画広報課では、主に自己点検評価や北星学園報の編集等に関わらせていただきました。大学という学びの場で働きたいという思いから、大学職員を志望していたのですが、普段は学生さんや先生方と接する機会がほとんどなく、入職した最初の年は学校で働いているという実感を持てませんでした。学生さんたちの中にも、企画広報課に一度も来課せずに卒業し

しかしながら、仕事をしてくるうちに様々な部署の業務によって大学運営が成り立っていることを知り、それに伴って自分の担当する業務の重要性も認識するようになりました。学園報編集作業や学園関係の会議を通じて、大学以外の各校の取り組みを知ることもできたのも私にとっては貴重な経験でした。五年間という短い期間ではありますが、北星学園で得たものは大きく、この間支えてくださった多くの方々から感謝申し上げます。



